

# 生涯教育功労者

▼表彰状



大松沢 靖一さん (76)

平成 19 年から、町下自治会長として 10 年にわたり地域活動をけん引。その間、街地区自治会連合会長、金ケ崎町自治会長連絡協議会長も務め、「郷土かるた」の制作など地域理解を深める活動の基礎をつくりました。



及川 伊佐男さん (75)

平成 21 年から檀原自治会長を 8 年務め、檀原地区新年交賀会をはじめとした各種行事を取り入れ、地域のつながりづくりに寄与。檀原の歴史・文化保存事業編集委員会をたちあげ、地域史「檀原地域の歩み」を編さんしました。



千田 真一さん (71)

昭和 42 年から通算 13 年間、町ソフトテニス協会事務局長を務め、平成 20 年からは町体育協会副会長としてスポーツ振興に尽力。町のスポーツのあり方や普及啓発のため、事業の見直しや新規事業の企画などに尽力しました。

▼感謝状



故 佐藤 惇さん

平成 17 年から 10 年にわたり、街地区生涯教育センターで所長を務め、街地区火防祭の伝統行事「はやし屋台の運行」を復活させたほか、活性化委員会とともに雪まつりを開催するなど、地域振興とセンター運営に尽力しました。



佐藤 光吉さん (67)

和光集落の集落長や自治会の事務局長などを経て、平成 21 年から和光地区自治会長を 6 年務めました。和光、大沢、潤沢、駒丘の四つの集落からなる同自治会の地域づくり活動に力を発揮し、貢献しました。



堀 寿正さん (69)

平成 25 年から藤巻自治会長を務め、南方地区自治会連合会の事務局長、副会長として連合会活動を支え、今年 4 月から会長に就任。町内でもっとも多くの人を抱え、多様性に富んだ南方地区の地域づくりをけん引しています。



及川 暉久さん (77)

昭和 40 年に金ケ崎剣道スポーツ少年団を設立。平成 7 年から金ケ崎町スポーツ少年団副本部長、平成 14 年 4 月から 26 年 3 月まで本部長を務め、スポーツを通じた青少年の健全育成に長年取り組んできました。



金ケ崎町民劇団 (団長 及川 紀美子さん)

平成 21 年に発足し、金ケ崎町生涯教育 30 周年記念大会で第 1 回公演を上演以来、町内の伝承や地域活動などを題材にした公演を行い、芸術文化活動の広がりへと発展させてきました。



長志田 念仏 鬼剣舞 保存会 (代表 高橋 亮悦さん)

明治 16 年に町内の西根谷地内から伝承され、戦争の影響で中断した後、昭和 27 年に復活。その後、何度も中断の危機に瀕しながらも継承を続け、長志田地域のまとまりのシンボルとなっています。



西根 甚句 踊り 保存会 (代表 佐々木 忠良さん)

時代の流れとともに生活様式が大きく変化する中、いつの時代も踊りを通し地域の連携づくりに貢献。昭和 63 年ごろから、金ケ崎中学校で伝承活動を行い、運動会や夏祭りで踊りを披露しています。



アマースト町副教育長  
ドリーン・カニングハムさん

## 姉妹都市アメリカ合衆国 アマースト町からのメッセージ

姉妹都市アマースト町から副教育長のドリーン・カニングハムさんが来町し、アマースト町議会 J・リン グリンスナー議長からの「生涯教育の町」宣言 40 周年に寄せてのメッセージをいただきました。

メッセージには「40 周年を祝福し、私たちは教育、文化、企業、経済およびその他の交流等、両町の姉妹都市の関係を友情と相互理解により強化します」など 40 周年の祝福と今後の交流について書かれていました。



## 「生涯教育の町」宣言 40 周年 記念事業を振り返る

今年度は 40 周年を記念して多くの事業が行われました。その一部を紹介します。

▼「真打ち競演」NHKラジオ番組公開収録

落語、漫才、漫談が行われ、会場からは終始笑い声が響き渡り、参加者たちは笑いの世界に引き込まれました。



▼多摩交響楽団コンサート

中学生の指揮者体験やユニークな楽器を使った演奏なども行われ、参加者は楽しみながら金ケ崎で奏でる素敵な音色に聞き入っていました。



▼町民大学文化講演会

京都清水寺の森清範貫主を講師に「言葉の力」を学びました。公演中には、「今年の漢字」のように金ケ崎に向け「和」という字を書いていたいただきました。

